令和４年度　道徳教育　全体計画

学校番号	５８	伊那北　　高等学校	全日　　課程	普通　　科

学校教育目標
１　平和を希求し、真理と正義を探求する資質を養う。 ２　躍如として学業にいそしむ。 ３　自主・自立の精神を養い、個性の伸長をはかる。 ４　自由と責任を重んじ、努力を惜しまない態度を養う。
重点目標
１　「いじめ・体罰」のない安心安全な教育環境を整え、一人一人が輝く学校にする。 ２　チームとして、「主体的、対話的で深い学び」を実現する授業と教育課程の改善を進める。 ３　「社会に開かれた教育課程づくり」を目指し、外部社会との連携を図る。

道徳教育の重点目標
本校における人権平和教育の目標を次の点におき、教育活動のあらゆる領域を通じてその実現を図る。 ・すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくり、特にいじめは絶対に許さないという心を育てる。 ・社会的に様々な形で存在する差別、偏見に生徒の目を向けさせ、それについて考えさせることにより、人権意識を確立し、民主的な社会の実現を目指す心を育てる。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
１年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア・進学意識を高める活動に取り組む。 ○クロスペン講演会 ○各種大学見学会 ○夢ナビライブ ○文理選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ○性教育 ○SNS学習 ○薬物乱用防止学習 ○人権週間を設定して人権平和学習。	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭 ○合唱コンクール ○クラスマッチ
２年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○クロスペン講演会 ○進路別科目選択 ○体験学習	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○人権・平和学習 ○合唱コンクール	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標の実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営 ○人権・平和学習
３年	社会の諸課題に対して主体的に解決していこうとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	大学・社会の課題、人生・職業について認識を深め、目的意識の確立を目指す。 ○クロスペン講演会 ○進路講話	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○高校卒業後の在り方について ○人権学習	本校生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営

各教科	
国語	言葉による見方・考え方を働かせ、伝え方の大切さを学び、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。
地理歴史	歴史や地理を学び、社会との関わりを意識して課題を追究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
公民	憲法や人権を学び、持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする態度を育む。
数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養うことにより、他者とのつながりに生かせる力を育む。
理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、科学的なものの見かた・考え方を学び、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や他者との協同心、一人一人の違いを大切にする態度を養う。
芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、文化・民族の差異を認め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付ける。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をとおして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。